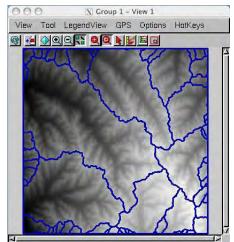
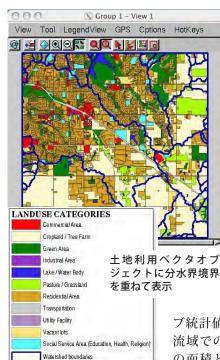
流水(分水界)解析

土地利用に関する政策の決定は水資源の質に直接影響するため、流水解析は都市の土地利用計画において重要な要素 です。TNTmips の流水解析機能は流水の方向、流路ネットワーク、流域の境界、そして流路網の支流に関連した盆地を 計算し、詳細な流水解析が行えます。TNTmips における一連の処理機能は流域内における都市の様々な用途に使われる 土地の面積を解析するのに役立ちます。



標高ラスタに分水界境界を重ねて表示



・ 流域境界の生成

流水解析機能 (ラスタ / 標高 / 流水解析) は入力の DEM データを使って分水 界ポリゴン、盆地および流路を計算します。この例では、ネブラスカ州ラン カスター郡の Grant 郡区の等高線を使用して入力 DEM が作られました。等 高線データはテクニカルガイド「都市の研究:傾斜解析 (Urban Studies:Slope Analysis)」で解説しているように、リンカーン市とランカスター郡情報シス テム地図ショップのウェブサイト (http://ims.ci.lincoln.ne.us/gisweb/) より 入手しました。流水解析機能により計算した分水界境界はベクタオブジェク トに保存されます。流水解析に関する詳しい情報は TNT 入門「流域の形態の モデル化 (Modeling Watershed Geomorphology)」に掲載されています。

流域の土地利用特性の計算

Grant 郡区の土地利用データはシェイプファイルフォーマットで入手され、 TNTmips にインポートしました。土地区画のベクタポリゴンは土地利用分類 毎により大きなポリゴンへまとめられ (各種図形/フィルタ/ポリゴンのディ

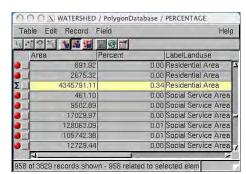
ゾルブ)、さらに36種類あった 土地利用分類を 11 種類に減ら しました。ポリゴンの集計処理 (各種図形/属性/ポリゴンの集 計)は、ソースと出力オブジェ クトの一組のベクタオブジェク トに対してポリゴン統計を生成 し、統計テーブルを出力オブジェ クトにアタッチします。流域中 の土地利用分類の面積と比率を 計算する強力な手段です。この 例では、ポリゴンの集計処理を 使って流域のポリゴンデータ ベースに比率に関するテーブル を自動的に生成しました。デー タベースの[テーブル (Table)]

ブ統計値(ソート毎の統計値)の機能は、各

流域での土地利用分類 の面積と比率の可視化 に役立ちます。

• 計算フィールドを使って比率テーブルをシン

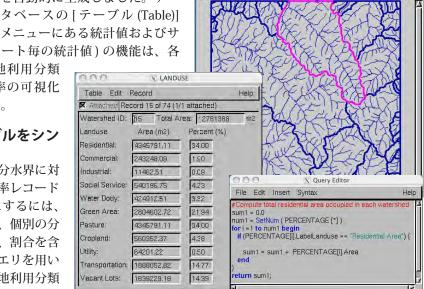
比率 (Percentage) テーブルには、個別の分水界に対 して土地利用分類ポリゴン毎の面積と比率レコード が含まれています。比率表をシンプルにするには、 新しいデータベーステーブルを作成して、個別の分 水界において土地利用分類と、その面積、割合を含 むようにします。この例では、簡単なクエリを用い て、新規データベーステーブル内に各土地利用分類 に対する計算フィールドを作成しました。



下図で選択されている分水界には 4345791.11㎡ の面積の居住地が含まれ、分水界面積の34%を 占めます。

Croup 1 - View 1

View Tool LegendView GPS Options HotKeys



新しく作られたデータベーステーブルには、選択された分水界について土 地利用分類毎の面積と比率が表示されます。